

PDA診療ガイドライン作成における文献検索・収集について

—未熟児動脈管開存症診療ガイドラインから—

未熟児動脈管開存症診療ガイドライン作成プロジェクトチーム (J-PreP)

諫山哲哉、西原正泰、山口直人、郷勇人、高橋大二郎、加藤文典、新津健裕、佐藤義朗、森臨太郎、豊島勝昭 横山岳彦、南宏尚、

診療ガイドライン作成の手順



文献選択(採用と不採用)

MEDLINE 1151	EMBASE 805	Cochrane 330	医中誌 20	ハンドサーチ 16
-----------------	---------------	-----------------	-----------	--------------

医学文献データベースから検索により抽出 **2322** 文献



図書館からフルテキストを入手 **701** 文献



科学的根拠として採用 **114** 文献

※ 文献数は各データベース間、各CQ間の重複を含む。

クリニカルクエスチョン(CQ)

疑問の定式化

PICO形式

P : patient	どのような対象に
I : intervention	どのような治療を行ったら
C : comparison	行わない場合に比べて
O : outcome	どれだけ結果が違うか

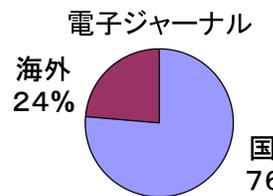
(例) インドメタシン予防投与で脳室内出血は減るか?

P: 超低出生体重児, I: インドメタシン, C: プラセボ, O: 脳室内出血

PDAガイドライン(J-PreP)では、**18**のCQを設定。

文献手配

大阪府立母子保健総合医療センター
企画調査室 < 集配拠点 >



下記の順に文献手配を系統的・効率化に行う

	文献数
電子ジャーナル	251
フリージャーナル	42
収集拠点図書館	89
国内 J-PrePメンバー所属図書館	61
海外 J-PrePメンバー所属図書館	59
印刷出版物 (国内J-PreP所属図書館)	110
合計	361

※ 文献数は各データベース間、各CQ間の重複を含まない。

文献検索

- ・ キーワード、シソーラス(見出し用語)を組み合わせた**検索式**。
- ・ 主題に合う(**特異度**)文献を、漏れなく(**感度**)検索。
- ・ **研究デザイン(エビデンス・レベル)**で絞り込む(**フィルタリング**)。

(例) RCTに絞り込むためのフィルター

(Random* OR Double-Blind* OR Single-Blind* OR Triple-Blind* OR Double-dummy* OR Mask* OR Sham OR Placebo*) OR ("Double-Blind Method"[MeSH] OR "Patient Selection"[MeSH] OR "Random Allocation"[MeSH] OR "Single-Blind Method"[MeSH] OR Placebos[MeSH]) OR "Randomized Controlled Trial"[Publication Type]

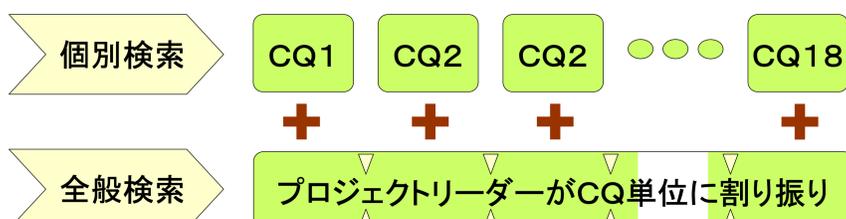
問題点

医学図書館員 保健・医療情報の専門家
EBM指向の系統的な検索を行う
国内では協力を得られる環境が少ない

EMBASE 薬学関連や欧州の医学文献を収集
欠かせない医学文献データベースの一つ
国内での利用は進んでいない

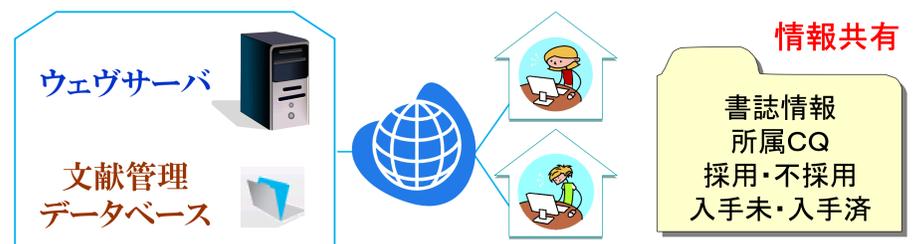
PDAガイドライン(J-PreP)では、2名の**医学図書館員**が参加し、**EMBASE**も含め、二方面から検索式を立案し網羅的に検索。

- ・ PICOに沿ったCQ単位の **個別検索**
- ・ 全CQが対象の網羅的な **全般検索**



メタ・アナリシス、ランダム化比較試験を中心にフィルタリング

ウェブシステム SENJU



まとめ

- EMBASEを採用し、医学図書館員が参加することで、系統的・網羅的検索が可能となった。
- SENJUを運用し、文献選択・手配を、国内・国外のメンバーが協力して行った。
- 文献手配に要する手間は、施設間、国内外で格差があることを再確認した。文献の一括入手ができるシステム作りが必要である。